

平成 15 年度

事業報告

社会福祉法人 名東福祉会

〒465-0055 愛知県名古屋市名東区勢子坊2-1303

TEL (052) 702-2863

FAX (052) 701-2079

E-mail m-works@se.starcats.ne.jp

目 次

名東福祉会のミッション	2
事業機構	3
利用者の状況	5
デイケア事業	10
ナイトケア事業	16
* レジデンス日進竣工式報告	18
地域生活支援事業	19
各種委員会等	24
地域交流事業	29
施設・事業所一覧	

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の知的障害者ケアと、知的障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は知的障害者エンパワーメントの理念のもと、名古屋市東部地域において、知的障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（1）生命の安全と健康

- ・命を最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（2）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

（3）個別エンパワーメント計画（I E P）にもとづいた処遇

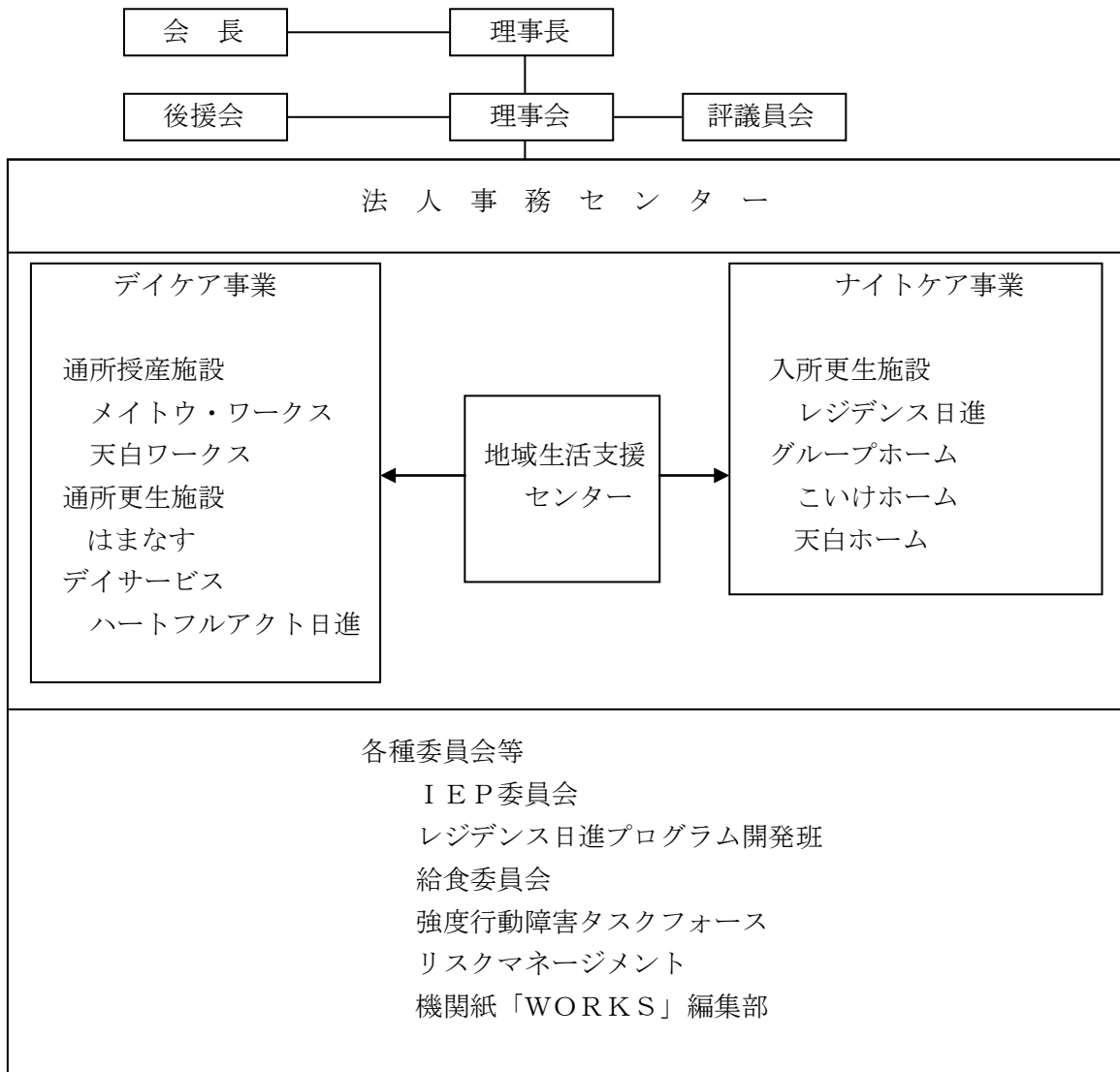
- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要なI E Pを立案する。
- ・個別福祉サービス計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・知的障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別福祉サービスを決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・I E Pによって設定された目標の達成度を常にチェックする。

（4）提供サービスの妥当性の確保

- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

事業機構

1. 機構図



2. 職員構成（平成16年5月1日現在・計54名）

	理事長	会 長	事務員	所 長	支 援 員 等		コーデ ィネー ター	看護師	栄養士	医 師
					男	女				
法人全体	1	1	3	4	20	21	1	1	1	1
メイトウ・ワークス				1	6	6				(1)
天白ワークス				1	6	7				(1)
はまなす				1	3	3				(1)
レジデンス日進				1	4	4		1	1	(1)
こいけホーム				(1)		1				(1)
天白ホーム				(1)	1					(1)
地域生活支援C				(1)			1			

* レジデンス日進には、上記の法人職員以外に、派遣職員が支援業務に従事

* () は兼務

利用者の状況

(平成 16 年 5 月 1 日 現在)

名東福社会は現在、130 名以上の利用者の方々に利用契約をいただいています。また、地域生活支援センターを設置し、東部名古屋地域の障害をもった方々の生活を支えています。

1. 年齢分布 * () は重複利用者の再掲

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	2	2	2	5	3	2	11	8	1			1	37
天白ワークス	4	6	1		3	2	5	4	5	2		1	33
はまなす	1		2	2	6	2	4	1	2				20
レジデンス日進	2	1	2	3	8	2	10	6	2	3		1	40
こいけホーム								3					3
天白ホーム									4				4
法人全体	9	9	7	10	20	8	30	22	14	5		3	137
	18		17		28		52(1)		19(4)		3		

2. 居住(出身)地分布 * () は重複利用者の再掲

	名古屋市													
	名東	千種	守山	天白	昭和	瑞穂	中川	中村	北	東	南	緑	港	計
メイトウ・ワークス	23	3	2	1	1	1	1			1				33
天白ワークス	4			17	2		1				2	7		33
はまなす	13	2		2	1	1								19
レジデンス日進	3	1	2	8		1	1	1	1		1	3	1	23
こいけホーム	1				1							1		3
天白ホーム	1		1	1			1							4
法人全体	45 (2)	6	5 (1)	29 (1)	5	3	4 (1)	1	1	1	3	11	1	115

	名古屋市外											計	
	日進	瀬戸	尾張旭	春日井	東郷	三好	一宮	江南	尾西	師勝			
メイトウ・ワークス	2		1			1							4
天白ワークス													
はまなす			1										1
レジデンス日進	9	2		1	1		1	1	1	1			17
こいけホーム													
天白ホーム													
法人全体	11	2	2	1	1	1	1	1	1	1			22

3. 障害の程度（支援費制度程度区分）

	A（区分1）		B（区分2）		C		計
	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	11	14	7	4	1		37
天白ワークス	13	12	5	3			33
はまなす	14	5	1				20
レジデンス日進	20	11	2	4	2	1	40
こいけホーム		3					3
天白ホーム	4						4
法人全体	62	45	15	11	3	1	137
	107		26		4		

4. 障害の種別 *（ ）は重複利用者の再掲

	自閉症		ダウン症		脳性麻痺		知的障害		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	7	3	2	5	1	3	9	7	37
天白ワークス	11	3	2	2		1	5	9	33
はまなす	7		3	2		2	5	1	20
レジデンス日進	15	6		1	1	2	8	7	40
こいけホーム				1				2	3
天白ホーム			1				3		4
法人全体	40	12	8	11	2	8	30	26	137
	52		19(1)		10		56(4)		

	重複障害										計
	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	3	4	1			1		2	1		12
天白ワークス	1	2	1		1	1					6
はまなす	1	2		1			1	2			7
レジデンス日進	3	2		1		1	1	1	3		12
こいけホーム											
天白ホーム	1				1						2
法人全体	9	10	2	2	2	3	2	5	4		39
	19(1)		4		5(1)		7		4		

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	4	3	1	1			4	4	5	3	5	7	37
天白ワークス	4	7	1	1	2	1	4	3	2	2	5	1	33
はまなす	1			1	1	1	13	3					20
レジデンス日進	24	16											40
こいけホーム				2				1					3
天白ホーム					4								4
法人全体	33	26	2	5	7	2	21	11	7	5	10	8	137
	59		7		9		32		12		18		

6. 月別平均利用者数（平成15年度）

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	37	32.7	31.9	33.6	34.0	34.6	34.1
天白ワークス	35	31	32	32	32	32	32
はまなす	30	18.0	18.7	18.6	18.5	18.4	18.0
レジデンス日進	40						
こいけホーム	4	2.4	2.5	2.7	2.7	1.8	2.4
天白ホーム	4	1.8	2.7	2.7	2.4	1.5	2.4

10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
35.6	34.5	34.5	35.1	31.7	32.5	33.7	メイトウ・ワークス
32	32	32	32	31	27	31	天白ワークス
17.5	18.0	17.6	17.7	17.7	16.7	17.9	はまなす
			1.5	11.0	24.0	12.1	レジデンス日進
2.4	2.3	2.2	2.1	2.4	2.2	2.3	こいけホーム
2.9	2.5	2.4	2.2	2.7	2.9	2.4	天白ホーム

* はまなすは地域との協定により利用者数を20名以内に制限

* レジデンス日進は12月1日に開所し、利用者の希望に合わせて順次入所

7. 時間延長サービス利用者数 (16:00~17:00)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
メイトウ・ワークス	5	3	1	3	2	2			7	23
天白ワークス	5	3	1	3	2	2			7	23
はまなす	7	2	1	2	1	1	1		2	17
法人全体	17	8	3	8	5	5	1		16	63

8. 短期入所事業延利用者数

	11月	12月	1月	2月	3月	計
メイトウ・ワークス		16	14			30

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの開発・展開を積み重ねてきました。障害をもった方々に充実したプログラムを選択的に利用していただけるよう、今後も事業展開いたします。

各施設のプログラムの相互利用を図り、特に生活施設の利用者の暮らしが限られたものにならないよう留意しています。

1. 作業プログラム

(1) プログラムメニュー

● 陶芸作業（メイトウ・ワークス／天白ワークス）

はし置き、一輪挿し、フリーカップ、お皿など生活を彩る陶器を製作。土に触れる段階から製作、絵付け、釉掛け、焼成後の仕上げまでと工程の多いプログラムのため、多くの利用者が参加しやすい。

● クッキー作業（天白ワークス／はまなす）

生地作りから袋詰めまでの全工程を1日で終わることができ、利用者にとって分かりやすいプログラムとなっている。生地や抜き型を選んだり、包装用のリボンかけなど、お菓子作りの楽しい雰囲気が魅力。ゼリーやケーキ作りも取り入れた。

● ビーズ作業（メイトウ・ワークス／はまなす）

携帯ストラップ、グラスコード、キーホルダーなどのオリジナル製品を製作し、各地の福祉の店やバザーで販売。作業工程の明確化を図っている。

● 縫製作業（メイトウ・ワークス）

ぬいぐるみ、ボディスポンジなどのオリジナル製品を製作。各地の保育所や子育てサークルから注文を受ける。分業制により参加利用者が拡大し、選択性が高まった。

● 製パン作業（天白ワークス）

余分な添加物を一切加えず、国産小麦と菜種油を原料にしたこだわりのパンを製造・販売。「安心でおいしい」パンとして、近隣の保育園や老人ホームでの給食メニューとしても好評。平成16年度には、赤池方面に独立店舗を構える予定。

● 下請作業（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす／レジデンス日進）

作業内容の明確な、利用者に分かりやすいプログラムとして全施設で提供しており、積極的な構造化を図っている。自動車やパチンコ基盤の部品から水道管関連パーツまで種目は様々で、各施設複数種目を提供することで選択性に留意している。

● 農耕作業（レジデンス日進）

施設より徒歩15分程の法人所有地で実施。15年度は準備段階として、石拾いなど「畑作り」から開始した。

● 生ゴミ処理作業（レジデンス日進）

農耕作業地に生ゴミ処理機1台を設置して実施。食事提供で発生する残飯等をその日のうちに処理機にかけ、堆肥を生成して農耕に利用。

(2) 年間売上状況 (単位：円)

	メイトウ・ワークス	天白ワークス	はまなす	法人全体
陶 芸	1,587,304	852,160		2,439,464
クッキー		1,176,810	71,450	1,248,260
ビーズ	113,050		35,204	148,254
縫 製	1,318,965			1,318,965
製パン		3,083,414		3,083,414
下請け	343,504	213,806	206,333	763,643
その他	179,500	1,300		180,800
計	3,542,323	5,327,490	312,987	9,182,800

(3) 利用者給与支給状況 (単位：円)

通所授産施設利用者を対象に、利用日数に応じて毎月支給。希望者には、特定作業への参加により出来高給を上乗せ支給している。年2回賞与支給。

	基本給	一人当たりの平均月額	年間総額
メイトウ・ワークス	150 円/日	2,854	1,639,660
天白ワークス	100 円/日	1,897	1,017,820

2. レクリエーションプログラム・イベント

- 散歩プログラム (メイトウ・ワークス/天白ワークス/はまなす/レジデンス日進)
小グループでのリフレッシュ活動として、作業プログラムと並行して日常的に実施。公園での散策やドライブ、文化施設の利用など参加メンバーの好みに応じて企画。

- バスハイク (メイトウ・ワークス/天白ワークス/はまなす)
全員参加の屋外活動。バスによる移動も利用者にとって大きな楽しみとなっている。天白ワークスは、ニーズに応じて行先を分けて実施。

	メイトウ・ワークス	天白ワークス	はまなす
4 月		25 豊橋総合動植物園 リトルワールド	11 川越電力館
5 月	14 名古屋市科学館		9 新舞子マリンパーク
9 月	17 日本モンキーパーク	19 岡崎駒立ぶどう狩	12 愛知こどもの国
		26 岡崎東公園	
10 月		17 多度芋堀	10 海南こどもの国
		31 木曾三川公園	
11 月		21 木曾三川公園	
		28 日本昭和村	
3 月		19 東山動植物園	19 浜松市フラワーパーク
計	2 回	5 回	5 回

● グループハイク（メイトウ・ワークス）

小グループによる屋外活動。利用者の選択した行先に基づいてグループ分けを行い、11回に分けて実施。

実施日	行先・企画内容	利用者数
4/9	中川コロナワールドにて映画・ボーリング	4名
4/30	とだがわこどもランド→雨天のため名古屋港水族館	4名
7/16	竜泉寺ウオーターパークにてプール活動	3名
8/5	日光川サンビーチにてプール活動	1名
9/25	恵那峡ワンダーランド	5名
10/21	公共交通機関を利用して東山動植物園	5名
10/24	オアシス 21	1名
11/20	蒲郡ファンタジー館	4名
3/9	下山村にてます釣り・バーベキュー	2名
3/18	マイカル桑名にて映画・ボーリング	4名
3/24	なばなの里（欠席者のための代替企画）	3名

● クラブ活動（メイトウ・ワークス／はまなす）

<メイトウ・ワークス>

利用者の選択によるグループ活動を毎週金曜日の午後に定期的に実施。ボランティアの活用により個別対応に留意した。

グループ名	利用者数	活動内容
バスケットボール	8名	障害者スポーツセンター体育室にて技術練習・試合
音楽・ダンス	8名	ワークス内にて音楽療法講師を招いて実施
創作	12名	ワークス内にて描画を中心に実施
ウォーキング	10名	名東スポーツセンター ウォーキングコースを利用

<はまなす>

希望利用者を対象に図書館等を利用。

行先	利用者数	頻度
名東図書館	5名程度	月2回
おもちゃ図書館	5名程度	月1回

● 外部団体の公演（メイトウ・ワークス）

地域サークル等の公演を年6回実施。事前打ち合わせを通して、利用者参加型の内容を目指した。季節行事も併せて行った。

団体名	実施日	内 容
天白りばーばんど	4/18	オリジナル曲、リクエスト曲の演奏
ポケットの会	7/4・12/25	絵本、歌、ペープサートなど
めいとう朗読グループ	9/5・2/3	絵本、歌、ペープサートなど
ゆうなの木	11/28	童謡を中心としたコーラス

● 家族交流会（天白ワークス）

利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的として5月15日実施。南知多ビーチランドの園内観光と潮干狩りを行った。

● 第16回合同運動会（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす）

6月14日（土）名東スポーツセンターにて実施。法人利用者や家族、職員約200名が参加し、施設対抗による各種競技やバンド演奏、全参加者によるフォークダンスなどを楽しんだ。

● ソフトボール大会（天白ワークス／はまなす）

4月18日（金）・10月3日（金）小幡緑地公園にて開催された知的障害者施設対抗の大会に参加。競技を通して施設間・利用者間の交流を図ることができた。

● フットベースボール大会（メイトウ・ワークス／はまなす）

11月5日（金）小幡緑地公園にて開催された大会に参加。競技を通して施設間・利用者間の交流を図ることができた。

● 年末パーティー（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす）

利用者の忘年会行事として実施（12/26）。天白ワークスは、日頃ご支援いただいているボランティアの皆さんへの感謝を込めて、交流パーティーを行った（12/8）。

● 成人式（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす）

該当者に合わせて、新成人のお祝い会を各施設で行っている。

1月16日（金）はまなす

新成人2名を囲み、浜名湖レークサイドプラザにて家族会と合同で実施。

● あおぞら号（メイトウ・ワークス／はまなす）

名東自動車図書館「あおぞら号」を利用。メイトウ・ワークスが地域の駐車ポイントになっており、地域交流の機会ともなっている。

年9回実施され、図書館職員による絵本の読み聞かせも併せて行われた。

ナイトケア事業

平成 15 年 12 月に知的障害者入所更生施設「レジデンス日進」が開所しました。これにより名東福祉会は、入所施設 1 ケ所とグループホーム 2 ケ所を運営することとなり、本格的なナイトケア事業を展開していくこととなります。活動的な日中プログラムとは対照的に、落ち着いた生活環境の設定に重点を置いています。

入所更生施設は 10 名前後のユニット単位で支援が行われ、利用者ひとりひとりの生活リズムを大切にしています。

グループホームは、男女別に設置しています。

1. 生活モデル

利用者ひとりひとりの生活リズムの安定を図るため、生活モデルを設定した。入所施設においても毎日、個別の入浴機会を設けて快適さを求めた。

時間	レジデンス日進	こいけホーム	天白ホーム
6:00	起床・朝食	起床・朝食 出勤・通所	起床・朝食 通所
9:00	日中活動へ出発 (法人施設等)		
12:00	帰着・昼食 日中活動へ出発		
15:00	帰着	帰着	帰着
18:00	入浴 夕食 入浴	夕食 入浴・洗濯	入浴・洗濯 夕食 入浴・洗濯
21:00	就寝	就寝	就寝

2. 各種支援サービス等

(1) ユニット単位の支援

4名(グループホーム)～10名(レジデンス日進)のグループ単位での生活支援を行うことで、個別ニーズの充足に留意した。

(2) 金銭等の管理

個別出納帳により職員が管理。家族等により随時収支確認を行った。グループホームについては、併せて所長の収支確認の実施も開始した。レジデンスでは、年金管理も行っている。

(3) 健康管理

医療機関への通院に配慮し、必要に応じて個別に付き添い支援を行った。

3. その他

12月 ホーム合同クリスマス会(カラオケ店・レジデンス日進)

2月 こいけホーム 利用者お別れ会

* 随時 利用者誕生日会

レジデンス日進 竣工式報告

1. 日 時

平成 15 年 11 月 19 日（水） 午前 10 時より

2. 会 場

日進市浅田町 レジデンス日進

3. 出席者

来賓	22 名	
各種団体	31 名	
関連施設	17 名	
後援会等	22 名	
法人役員	10 名	
法人職員	38 名	計 140 名

4. 内 容

9:00 受付開始

10:00 式 典

理事長あいさつ

感謝状贈呈 (中村建設)

来賓祝辞 (愛知県知事・日進市長・日進市議会副議長)

施設長紹介

11:00 内覧会

11:30 交流パーティー

理事長あいさつ

来賓祝辞 (愛知県議会議員・日進市障害者団体連絡会)

乾 杯 (日進市野方区長)

スピーチ (日進市生涯支援部長・名古屋市手をつなぐ育成会理事長
サンフレンド施設長)

会長あいさつ

13:00 竣工式終了

14:00 地域住民内覧会

地域生活支援事業

名東福祉会は発足当初から、地域に在住する障害をもった方々の支援を視野に入れた活動を行ってきました。平成 14 年度からは名古屋市の委託を受け、メイトウ・ワークス内に「名東区障害者地域生活支援センター」を設置しています。

支援費制度の浸透とともに多様なサービスが地域に展開しています。支援センターでは、相談に訪れる方々の様々なニーズをこれらのサービスに結びつけ、生活支援のネットワークを広げています。

1. 概要

地域生活支援センターでの相談業務も2年目に入ったが、新たに約90件の相談を受けた。相談は、事業者への仲介のように短期間で完了するケースと、特定の相談者へ継続した支援を要するケースとに大別される。後者の場合、長期展望をもったケアマネジメントや支援費利用では不足する社会資源の開拓が常に課題となった。

また、地域福祉の推進を目的に、千種区・名東区合同で支援費事業者連絡会を開催し、調整機能の強化に努めた。

2. 新規相談者の状況

(1) 居住地

	名古屋市内					愛知県内		愛知県外		不詳	計
	名東	千種	守山	他	計	日進市	東郷町	桑名市	上越市		
人数	55	7	5	13	80	3	2	1	1	5	92

(2) 障害種別

	児童（幼児～学齢期）				成人					不詳	計
	～6歳	～12	～15	～19	～29	～39	～49	～59	60～		
知的障害	8	4	5	14	10	11	5	2		1	60
身体障害		1	1				3	3	1	1	10
精神障害				1	1	1				1	4
重複	知・身		2	3		1		2			8
	知・精				1						1
	身・精							1			1
手帳無・不詳	1	2	1	1	1	1	1				8
小計	9	9	7	19	13	14	9	8	1	3	92
合計	44				45					3	92

(3) 性別・年齢

	児童（幼児～学齢期）				成人					不詳	計
	～6歳	～12	～15	～19	～29	～39	～49	～59	60～		
男	5	6	5	11	10	8	5	3	1		54
女	3	2	2	8	3	6	4	5		1	34
不詳	1	1								2	4
計	9	9	7	19	13	14	9	8	1	3	92

(4) 相談内容 (複数カウント)

	児童 (幼児～学齢期)				成人					不詳	計
	～6歳	～12	～15	～19	～29	～39	～49	～59	60～		
居宅介護*1	8	7	5	1	1	1	2	1	1		27
実習依頼			1	9							10
日中活動*2			1	11	4	6	1	1		1	25
就労相談						3	1				4
余暇支援		1	1	1	2						5
Gホーム					1	2					3
入所施設紹介				3	3	2	3	3			14
療育相談	2	1				1					4
その他*3				1	2	2	3	3	1	2	14
計	10	9	8	26	13	17	10	8	2	3	106

*1) ホームヘルプサービス全般 (身体介護・移動介護・家事援助)

*2) 高等学校卒業後の進路相談を始め、就学児童の長期休暇中の生活支援も含む

*3) ホームヘルプを含まない生活全般の支援・短期入所・障害者手帳のない方への生活相談・配食サービス等

3. 相談受付の状況

	コーディネーター					訪問				外来		施設
	来所		訪問	電話		指導 訓練	ケア 計画	申請 代行	機関 調整	指導 訓練	ピア C*	指導 訓練
	延べ	新規		延べ	新規							
4月	2		6	13	2					4		2
5月	13	6	2	28	6					1		2
6月	8	7	5	16	2	1	1			24		4
7月	6	4	2	18	4	4	1			13		2
8月	5	5	1	8		1				14		
9月	14	4	4	11	2	3				4		
10月	2	1	7	14	2	7				3		
11月	8		8	33	7	3				5		3
12月	10	3		19	2	2	1			11		
1月	20	5	4	17	4	3				2		
2月	13	4	1	18	5	6				3		
3月	15	2	2	31	4	7			3	4		1
計	41	41	42	226	40	37	3	0	3	88	0	14

*は「ピアカウンセリング」

4. 会議等

(1) 千種区・名東区支援費関連事業者連絡会

参加者：居宅支援事業所、施設支援事業所、育成会、身障協会、相談員、行政

開催日	場所	内容
11.27	名東区役所講堂	支援費制度現状報告、自己紹介、質疑応答
3.19	千種区役所講堂	利用者アンケート、支援センター活動について、情報交換

(2) 講演等

開催日	場所	名称	内容
4.6	名東生涯学習センター	聴覚障害者にどう関わる？『支援費制度』講演会	支援費制度について、苦情解決と権利擁護、ピアカウンセラー
4.24	障害者スポーツセンター	名東区手をつなぐ育成会「支援費説明会」	支援センターの動き、支援費制度説明、就労支援、後見人制度
6.7	名古屋文化学園医療福祉専門学校	社会福祉援助技術論演習Ⅱ講義	福祉施設の概要、地域福祉の観点、事例、支援費制度・支援C
6.12	名東区役所	名東区介護保険関係事業者連絡会	支援費制度説明会
6.19	中区役所	平成15年度ケアマネジメント研修	アドバイザーとして参加
7.7	名古屋文化学園医療福祉専門学校	障害者福祉論演習	当事者家族の困難、問題点、必要とされるサービス
7.18	愛知県社会福祉会館	平成15年度ケアマネジメント研修	アドバイザーとして参加
8.20	一粒荘	平成15年度ケアマネジメント研修	アドバイザーとして参加
8.20	森孝しぜん館	平成15年度ケアマネジメント研修	アドバイザーとして参加
10.19	久屋大通り公園	障害者と市民のつどい	PRコーナーに参加
10.21	ひまわりの風	平成15年度ケアマネジメント研修	アドバイザーとして参加
11.22	もりたかホーム	グループホーム見学会	共同作業所 TUTTI 利用者・職員
10.21	メイトウ・ワークス	平成15年度ケアマネジメント研修	アドバイザーとして参加
2.20	名東区役所	名東区育成会役員懇談会	民生課、名東警察署同席

(3) 行政会議

● 平成 15 年度障害者地域生活支援センター連絡会

主催：名古屋市健康福祉局障害福祉部

回数	開催日	内容
第 1 回	4.23	平成 15 年度の障害者地域生活支援センター運営事業の展開
第 2 回	6.17	自立支援配食サービス、障害者地域生活推進特別モデル事業
第 3 回	8.27	配食サービス、障害者地域生活推進特別モデル事業、支援費
第 4 回	11.14	支援センターの運営、配食サービス、支援費
第 5 回	2. 3	支援センターの運営、名古屋市障害者基本計画骨子案他

● 平成 15 年度障害児（者）地域療育等支援事業実施施設担当者会議

主催：愛知県心身障害者コロニー

回数	開催日	内容
第 1 回	4.24	平成 15 年度障害児（者）地域療育等支援事業の実施 平成 14 年度障害児（者）地域療育等支援事業のまとめ
第 4 回	2.24	平成 15 年度障害児（者）地域療育等支援事業 平成 16 年度障害児（者）地域療育等支援事業

(4) その他

● 東ブロック会 (5/19 8/4 12/19)

15 年度事業計画、14 年度実績・決算、千種・名東区支援費関係事業者連絡会報告、コーディネーター活動状況

● 障害児（者）地域療育等支援事業連絡会 (8/19 11/14 12/8 3/8)

名古屋市懇談会報告、支援センター状況報告、今後の事業展開・連絡会の持ち方
東海北陸ブロック研修会報告、各区コーディネーター活動状況、相談業務のあり方
施設生活推進委員の配置について、カウント方法について

● 名東区地域福祉活動計画作業部会

(4/22 5/20 6/17 7/5 7/15 8/16 9/16 9/27 11/8)

社会福祉協議会により作業部会委員として委嘱、情報の収集・調査研究

● サービス調整会議 (10/24 10/30 1/22 3/25)

関係諸機関の参加によるケース検討

各種委員会等

名東福祉会には、施設横断的な委員会が機能別に設けられており、利用者に提供するサービスの質の向上に努めています。

1. I E P委員会

(1) 目的

I E Pとは Individualized Empowerment Plan の略で、本人の自己決定を尊重した個別支援（エンパワーメント）計画である。I E P委員会は各事業所における支援内容の妥当性のチェックやツールの標準化を行う。

(2) 構成

各施設職員 1 名（15 年度は各所長が兼務）

(3) 活動報告

- 4 月 平成 15 年度分利用契約手続きの検証
個別支援計画の書式および立案のあり方の検証・達成度評価のあり方の検討
- 5 月 個別支援計画書記入上のガイドラインの確認
機関誌「WORKS No.94」寄稿『契約の目的は「利用者の満足」の追求』
- 6 月 施設サービス内容のコード化および分析の試み
- 9 月 P O S（Problem Oriented System：医療分野の問題解決志向型行動システム）
における S O A P 形式の記録方法活用の試み（2 ケース）
- 1 月 利用契約更新手続きの確認
個別支援計画書式の変更（目標期間設定・達成度評価のあり方）
- 2 月 各施設にて新書式を用いた支援計画立案
- 3 月 各施設にて利用契約更新手続き・個別支援計画の説明および同意手続き

今後は、支援計画内容の共有により日常の施設支援の柱とし、随時改訂が進められること、また第三者にも分かりやすい達成度評価のあり方を求めていくことが課題として挙げられる。

2. レジデンス日進プログラム開発班

(1) 目的

入所更生施設レジデンス日進の開所に向け、＜支援費時代の入所施設機能＞をテーマにプログラム検討を行う。

(2) 構成

各施設職員 1～2 名

(3) 活動報告

- 4 月 デイリープログラム／サービスサイト／グループホームのバックアップ／
各デイセンターとの相互利用／情報処理システム についての確認
- 5 月 利用者選考基準の検討
- 6 月 事務関連／職員人事・利用者選考／竣工式／ナイトケア／サービスサイト／
デイサービス／I T 化 に分けて機能別検討開始（開発班増員）

11月 竣工式

12月 開所

3. 給食委員会

(1) 目的

法人全施設で、直接調理方式から業者委託によるクックチル方式に変更したことに伴い、健康管理や嗜好の観点から給食サービスの内容をチェックするため発足。委託業者と連携して、法人全体の質の向上を目指す。

(2) 構成

各施設職員1名（法人栄養士を含む）

(3) 活動報告

2月 各施設での提供方法、現状での問題点の確認／嗜好調査表様式の統一

4. 強度行動障害タスクフォース

(1) 目的

通常プログラムを利用することが困難な利用者に対し、障害別・ニーズ別プログラムの確立を図る。課題解決のための支援体制、新規サービスの確立、利用者へのサービス定着支援、法人全体および地域資源の活用をコーディネートしていく。法人利用者に留まらず、地域在住の相談者も対象とする。

具体的には、TEACCHプログラムをベースに展開し、利用者への提供サービスの開発および般化を専門職員の配置により実施する。また、専門職員から支援技術の提供・教育を具体的事例を基に行う。

(2) 構成

TEACCHプログラム研修職員

(3) 活動報告

1/26より、天白ワークス所属の自閉症利用者1名を、構造化の容易な はまなす にて受入れ、現在支援継続中。1日のスケジュールや物理的環境の構造化により自傷・他害が減少し安定する。今後は状況の安定から活動への積極的支援に向けて、本人のニーズ分析・支援方法を検討していくことが課題である。

5. リスクマネジメント

(1) 目的

利用者個々のニーズに最大限応える上で、サービス提供上のリスク管理は必要不可欠であるという認識に立ち、法人事務センターにリスクマネージャーを設置している。

リスクマネージャーは全職員から「ヒヤリ・ハット報告書」「事故報告書」を収集し、支援現場でのリスクの把握、法人全体での共有、リスク軽減等に努めている。単に事故

防止に留まらず、苦情解決やサービス評価などサービスの質を高めるための取り組みと連動したシステム作りが必要である。

(2) 構 成

リスクマネージャー 1名

(3) 活動報告

<ヒヤリ・ハット・事故報告書の内訳>

種別	分類基準	平成14年度	平成15年度
ヒヤリ	放置することで事故等につながると思われる	45 (60%)	50 (55%)
ハット	気になる出来事・改善のアイデアや気付き	7 (9%)	17 (18%)
事 故	すでに発生した怪我やトラブル	22 (31%)	25 (27%)

内訳によると、ヒヤリとした出来事や利用者の怪我といった報告の数は大きく変動がみられないが、業務改善のアイデアや施設内の安全を図るうえでの環境整備などのハット報告の割合が増えている。これは、今まで限られた職員の間で行われてきた小さな改善を形にし、全体で共有していくことのできるシステムへの一歩と言える。

また6月より月1回「名東福祉会の先週のヒヤリ・ハット(通称ヒヤリハットニュース)」の発行を行った。内容は、毎月の報告書提出状況、職員から提案された内容への対応策等の報告であり、これにより職員のリスクマネジメントに対するより一層の意識付けを図った。

<報告への対応の内訳>

対 応	件数
支援現場内で報告し、職員で対応を確認・周知した	54 (59%)
具体的に環境を整備した(マニュアル作成・掲示・物品移動)	37 (40%)
特に全体での対応をとらなかった	1 (1%)

対応としては、職員の中で報告を行い情報を共有することで、同じような事故を重ねて起こすことを防いだり、重大な怪我に至ることを予防する取り組みが一番多かった。具体的に目に見える形で対応したものでは、意識化を呼びかける掲示や物品移動がほとんどで、マニュアル面の弱さが課題として残った。

今後は「ヒヤリ・ハット報告書」「事故報告書」の内容が、事故(怪我・破損)に関するネガティブものばかりでなく、利用者へのよりよいサービスの提供や環境改善といったポジティブな領域にも広がっていくようなシステム作りが求められている。

6. 機関誌「WORKS」編集部

利用者・職員・後援会員・関係団体等に配布している法人機関誌の編集・発行を担当している。福祉業界の時事レポートから法人内のトピックスまで、法人関係者からの寄稿を募っている。

No.	発行月	テーマ
94	5月	契約の目的は「利用者の満足」の追求 (初めての施設利用契約手続きを終えて)
95	7月	変わる特殊教育、障害者福祉に大きな影響 (市教育委員会が「学校生活介助アシスタント」を設置)
96	11月	新たな出発へ (レジデンス日進の竣工を控えての後援会活動の抱負)

地域交流事業

名東福社会の運営する各施設は、地域住民の皆さんにとっても価値の高い存在であることを目指しています。ボランティアの方々に留まらず、誰もが気軽に利用できる地域センター的な役割を担っていきたいと考えています。

1. イベント

施設を開放して、模擬店・施設製品の展示即売・寄贈品バザーを行い、地域との交流・活動の紹介を図った。

レジデンス日進の開所を機に、今後は両イベントを統合して開催する予定。

	第16回 藤まつり	第21回 やきものまつり
開催施設	天白ワークス	メイトウ・ワークス
開催日	4/20(日)	11/9(日)
出店団体数	13団体	8団体
参加ボランティア数	68名	83名
総収入	435,900円	1,026,037円

2. ボランティア受け入れ状況

利用者ひとりひとりのニーズに応じたサービスの提供を進めるため、地域ボランティアの受け入れを積極的に行った。日常プログラムから各行事に至るまで、様々なサポートを受けることができた。

より多くの方々に来所していただくことは、利用者との関わりは基より、地域社会に開かれた施設であるために必要不可欠なことであると考えている。天白ワークスには、毎月美容師によるヘアカットボランティアも訪れる。

	メイトウ・ワークス		天白ワークス		はまなす		法人全体
	人数	備考	人数	備考	人数	備考	
4月	42		109	藤まつり	2		153
5月	48	バスハイク	36		3		87
6月	54	合同運動会	33	合同運動会	7	合同運動会	94
7月	56		51		1		108
8月	40	中高生体験	60	中高生体験	25	中高生体験	125
9月	55	バスハイク	46		2		103
10月	53		30		5		88
11月	107	やきものまつり	23		5		135
12月	36		23		4		63
1月	32		11		3		46
2月	47		23		4		74
3月	35		10		3		48
計	605		455		64		1,124

3. 陶芸教室（メイトウ・ワークス／天白ワークス）

● 出張陶芸教室

名古屋市厚生院、特別養護老人ホーム「極楽園」へ毎月、職員が利用者とともに出張し、陶芸を通じて高齢者との交流を図った。

- 地域陶芸教室

地域の子ども会や保育園などが施設内の陶芸室を利用。定期利用しているグループもある。

4. その他

- 「ハローネットワーク」の発行（メイトウ・ワークス）

ボランティア情報誌として隔月 350 部を発行。地域ボランティアの募集・法人施設の活動の紹介を目的としており、町内への回覧・地域店舗での掲示・来所ボランティアへの送付を行った。

- 施設の貸し出し（メイトウ・ワークス）

地域の町内会や子ども会、高齢者グループを中心に、土日祝日や夜間に施設を開放。年間延 50 団体ほどが利用した。

- 実習学生等の受け入れ（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす）

各施設、中学校からの職場体験実習や大学からの介護体験、専門学校からの現場実習の受け入れを随時行った。

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303

TEL (052)702-2863 FAX (052)701-2079

種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
知的通所授産	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303	(052)702-2863	(052)701-2079	m-works@se.starcat.ne.jp
	名東区障害者地域 生活支援センター	同 上	同 上	同 上	同 上
知的通所授産	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	t-works@se.starcat.ne.jp
知的通所更生	はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@se.starcat.ne.jp
知的入所更生	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
	法人事務センター	同 上	同 上	同 上	同 上
知的デイサー ビス	ハートフルアクト 日進	同 上	(052)805-1012	同 上	同 上
知的グループ ホーム	こいけホーム	〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1	(052)777-8385	(052)777-8385	koike-h@mocha.ocn.ne.jp
知的グループ ホーム	天白ホーム	〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3	(052)807-1578	(052)807-1578	tenpaku-h@muse.ocn.ne.jp